【研究群共通科目群】構造エネルギー工学関連科目(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
0AL0600	エネルギーシステム原論	1	2.0	1 · 2	春AB	火1, 2	岡島 敬一, 石田政義	幅広い側面を持つエネルギー問題と技術に対し、エネルギー供給の概要および電力インフラ、ガスインフラについて体系的に俯瞰できるよう講述する。また、電力系統 の需給調整と周波数制側、電圧制御などシステムの供給信頼度がどのように 確保されているかについて解説する。	構造エネルギー工学 学位プログラムのコ ア科目 対面	Energy System Engineering
0AL0601	固体力学特論	1	2. 0	1 • 2	春AB	金5,6	亀田 敏弘,松田 昭博	最初にテンソルについて簡単に論じた後、固体 の弾塑性力学の基礎について述べる。例題を解 くことによって、実際の問題への応用について も述べる。	コア科目 対面(オンライン併用 型)	Advanced Solid Mechanics
0AL0602	構造力学特論	1	2. 0	1 • 2	春AB	水1, 2	磯部 大吾郎,山 本 亨輔	建築・土木、機械などの分野で構造材料として 多用されるはり材、板材などを対象とし、幾何 学的非線形性・材料非線形性を有する問題につ いて考える。	コア科目 要望があれば英語で 授業.対面(オンライン併用型)	Advanced Structural Mechanics
0AL0603	振動学特論	1	2. 0	1 • 2	春AB	金1, 2	浅井 健彦,森田直樹	モード解析 (modal analysis) の考え方に基づき、質点系ならびに連続体に対する振動理論の 枠組みを示す。さらに、確率論で振動現象を捉えた場合の不規則振動解析のベースについて述べる。	コア科目 要望があれば英語で 授業. 対面	Advanced Vibration Analysis
0AL0605	災害情報学	1	2.0	1 • 2	春AB	木5,6	庄司 学,川村 洋平	被害把握-災害対応-リスク分析という災害時に おける各フェーズで求められる災害情報の質、 取得・評価方法、及び、実装方法の最新動向に ついて講述する。	第6週から第8週の授業日は、5月下旬から 6月上旬の集中講義扱 いとなる予定(川村担当)。 英語で授業。 対面(オンライン併用型)	Disaster Information
OAL0613	宇宙開発工学特別演習 2025	2	2. 0	1 - 2	春AB秋AB	金7	亀田 敏弘	国際宇宙ミッションの提案・実施を目標とする宇宙開発工学分野のテーマに関して、する。プロショップ形式でプロジェクトを遂行する。プロジェクトに内容は、例えば、小型衛星のミッションと要求の設定、概念設計、詳細設計、ブレッドボードモデルの作成、プロトタイプの作成と熱・振動試験等の実施になる。また、海外の大学で同種の小型衛星を開発しているチームとの交流を通じて、技術レベルの確認、開発動向の調査等も行う。	英語で授業。 対面 宇宙開発工学特別演 習1、同2019〜2024履 修者も履修可。ただ し、単位認定は2単位 までとする。	Advanced Space Exploration Engineering Workshop 2025
0AL0620	インフラ開発工学特別演習	2	2. 0	1 • 2	春AB秋AB	水7	山本 亨輔	地球規模課題の解決に資する新たな土木的システムをテーマとして、ワークショップ形式でプロジェクトを遂行する。	要望があれば英語で 授業. 対面(オンライン併用型)	Advanced Civil Engineering Workshop
0AL0621	建築設計計画特別演習	2	1.0	1 • 2	春C 夏季休業 中	月2 集中	金久保 利之,八十島 章	建築構造物を対象とし、具体的な建築計画テーマを設定して、計画、設計、製図演習を行う。 設定したテーマに類似する建物に関してフィールドワークを実施し、ワークショップ形式で建 築計画を紹介する。	対面	Advanced Exercises for Planning and Designing
0AL0622	電磁気学特論	1	1.0	1 • 2	春A	金5,6	藤野 貴康	Maxwell方程式を中心に電磁気学の基礎的な理解 を深める。	電磁エネルギー工学 を履修済みの者は履 修できない。 コア科目 対面	Advanced Electromagnetics
0AL0623	スマートグリッド特論	1	1.0	1 • 2	秋B	金1, 2	小平 大輔	電力供給システムに関する主要構成要素の基本原理とともに将来展開への考え方を解説する。	電磁エネルギー工学 を履修済みの者は履 修できない。 コア科目 対面	Smart Grid
OAL0624	流体力学特論	1	3.0	1 - 2	春ABC	木1,2	武若 聡, 白川 直樹, 京藤 敏達	を講述する。【ポテンシャル理論】速度ポテンシャル、ベルヌイの定理、流れ関数、複素ポテンシャル、等角写像、渦運動、翼理論等を解説する。【ナヴィエストークス方程式】層流境界層解、運動量積分方程式を導き、粘性の効果を	流体力学特論1または 流体力学特論2を履修 済みの者は履修でき ない。 コア科目 対面	Advanced Fluid Mechanics

【研究群共通科目群】構造エネルギー工学関連科目(専門科目)

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
0AL5600	マイクロメカニックス	1	2. 0	1 • 2	春AB	金3, 4	松田 哲也	不均質な内部構造を持つ材料のマクロな挙動と ミクロなそれを関連付ける力学について講述す る。金属材料に対する結晶転位塑性論と複合材 料に対する等価均質体法を中心に解説する。一 般化連続体力学についても論じる。	対面(オンライン併用型)	Micromechanics
0AL5601	圧縮性流れの力学	1	2. 0	1 • 2	秋AB	水5,6	横田 茂	音波、衝撃波、ショックチューブ内の流れ等の 波動現象について述べる。さらに、斜め衝撃波 と膨張波の理論、亜音速及び超音速流れの線形 擾乱理論、特性曲線法などについて解説する。	準コア科目 オンライン(オンデマ ンド型) 要望があれば英語で 授業	Advanced Dynamics of Compressible Flow
0AL5602	宇宙開発工学特論	1	1.0	1 • 2	秋C	集中	松本 聡,水谷 忠均,岡本 篤	宇宙機の熱制御技術と構造・材料技術、宇宙環境利用技術、月・惑星探査技術に関して講義を 行う。	世話人: 藤野 オンライン(オンデマ ンド型)	Advanced Space- Development Technology
0AL5604	計算力学特論	1	2. 0	1 • 2	秋AB	火3, 4	松島 亘志,新宅 勇一	国体力学、流体力学、電磁気学等において広く 用いられている有限要素法の理論的基礎および 実際的な計算手法について講述する。	準コア科目 対面(オンライン併用型)	Advanced Computational Mechanics
0AL5605	原子炉構造設計	1	2. 0	1 • 2	春AB	火5, 6	松田 昭博	火力発電における高温設計、軽水炉をはじめと する原子炉の構造設計について、材料挙動や強 度の基礎から具体的な設計法および健全性評価 法について講義する。	対面(オンライン併用型)	Structure Design of Nuclear Plant
0AL5606	構造物設計法論	4	2. 0	1 • 2	秋AB	水4,5	八十島 章	構造物の設計法の基本的な概念と手順について 解説する。特に鉄筋コンクリート構造物の耐震 設計法を,許容応力設計法と終局強度設計法の点 より詳しく述べ、理解を深めるために構造設計の 演習も行う。	対面	Structural Design Methodology
0AL5607	混相流工学	1	2. 0	1 • 2	秋AB	金5,6	文字 秀明,金子晚子,金川 哲也	流動伝熱関連機器や資源環境分野等で重要な役割を果たす混相流の特性と力学に重点をおき、その概念と基本的性質、混相流のカ学、流動波動特性および計測法について述べる。さらに最近のトピックスについて討論する。	対面	Multiphase Flow Engineering
OAL5608	材料強度学特論	1	2. 0	1 • 2	秋AB	金1,2	河井 昌道	巨視的材料強度を主題とし、材料の特性、拳動、強度、破壊、ならびにその力学的な取り扱い方法を総合的に解説する。材料強度を理解する ために必要な結晶転位論の基礎についても講述する。	世話人:松田哲也 対面	Strength and Fracture of Solids
0AL5610	数值流体力学	1	2. 0	1 - 2	秋AB	金3,4	三目 直登	数値シミュレーションの数理モデルおよび数値 解析手法について、具体的な問題を取り上げな がら基礎から応用まで講義する。また、融合分 野における最近の研究動向についても解説す る。	準コア科目 対面(オンライン併用 型)	Computational Fluid Dynamics
OAL5611	耐震工学特論	1	2.0	1 · 2	春BC	火1, 2	庄司 学,浅井 健彦	耐震工学の基礎事項から最新の研究成果までを 概説する。前半は、地震の発震機構と伝播プロ セス、地表面の強震動、地震危険度評価につい で述べる。後半は、地震動と構造物被害の関 係、構造物の非線形地震応答解析および耐震設 計との関係について述べる。	対面	Advanced Earthquake Engineering
0AL5612	地盤工学特論	1	2. 0	1 • 2	春AB	火3, 4	松島 亘志	本講義では、土粒子・水・空気の混相体である地盤の複雑なカ学挙動、それらを表現するための支配方程式の構造、代表的な土の構成モデル、および数値解析手法について解説する。	要望があれば英語で 授業.対面(オンライン併用型)	Advanced Geotechnical Engineering
0AL5613	輸送現象論	1	2. 0	1 • 2	春AB	金1, 2	西岡 牧人	物質および熱の移動現象を主として巨視的観点 から講義する。ついで物質の拡散と熱伝導に関 する具体的な環象とそれらの工学的応用例につ いて解説する。	準コア科目 オンライン(オンデマ ンド型)	Transport Phenomena
OAL5614	熱・流体計測法	1	2. 0	1 • 2	春A 春B	水5,6 金5,6	文字 秀明,金子 暁子,藤野 貴康, 横田 茂,SHEN Biao	熱流体の速度、温度、濃度、圧力等の最新計測 法として、熱線流速計、レーザ流速計、画像処 理流速計、分光法、ブローブ法、シュリーレン 法、レーザ誘起蛍光法などを紹介し、得られる データの処理方法と共に論じる。	準コア科目 対面	Thermo-Fluids Measurement Techniques
OAL5615	複合構造特論	1	2. 0	1 • 2	春AB	月1,2	金久保 利之	複合構造として鉄筋コンクリート構造に焦点をあて、その特徴を、構造様式や建設工法にしたがって概説する。その後、線材、面材等の力学的性質を、許容応力度設計法と限界状態設計法での利用に着目して解説する。	対面	Advanced Composite Structural Engineering
OAL5616	構造エネルギー工学特 別講義 I	1	1.0	1 • 2	春BC	集中	大住 道生, 粟田 輝久, 穂積 良和, 牛島 栄, 篠﨑 由 依	日本の社会を支える様々なインフラ, 防災技術等について. 技術開発. マネージメント. 維持管理メンテナンス. 長寿命化, 海外における事業展開等の観点より, 現場に携わっている講師陣が講述する。	世話人:武若,庄司 対面	Topics in Engineering Mechanics and Energy I
0AL5618	構造エネルギー工学特別講義III	1	1.0	1 • 2	秋AB	集中	市川 和芳	発電電力量の約8割を化石燃料を用いた火力発電 に頼る我が国において、気候変動の要因である 温室効果ガスの削減は喫緊の課題である。本講 義では、国内外の最新のエネルギー動向を踏ま え、低炭素化に挑む最新の火力発電技術の取り 組みに焦点をあて、(1) 最新の高効率技術(A- USC、160C、燃料電池など)、(4) パイオマスエネ ルギー利用技術、(5) ゼロエミッション化技術 (002回収・利用・固定化、水素利用など)につい (002回収・利用・固定化、水素利用など)につい が国のエネルギーシステムのあり方について、 議論を行う。	世話人:金子 対面	Topics in Engineering Mechanics and Energy III

0AL5619	構造エネルギー工学特別講義IV	1	1.0	1 • 2	秋C	集中	佐藤 博之	本授業では、第4世代原子炉のひとつであり、 1,000° C近い高温を取り出せ、優れた安全性を 有する高温ガス炉技術と高効率ガスタービン発 電や炭酸ガスフリーの大規模水素製造などの熱 利用技術を学習する。また、我が国のエネル ギー情勢、原子力と水素エネルギー開発の動向 について紹介する。	世話人:金子 オンライン(オンデマ ンド型)	Topics in Engineering Mechanics and Energy IV
0AL5620	構造エネルギー工学特 別講義V	1	1.0	1 • 2	秋B	集中	吉田 啓之	原子カシステム、特に発電用として活用されている軽水炉(PWR、BWR)についてその概要を説明するとともに、熱設計の方法やその課題を述べる。原子炉内システムに関して熱流動(混相流熱流動)現象に関連した数値シミュレーション、特に数値流体カ学について、その基礎を概説する。さらに数値流体カ学を熱設計に適用する際の課題について示し、理解を深める。	世話人:金子 対面	Topics in Engineering Mechanics and Energy V
0AL5621	災害から学ぶ∶巨大災 害が社会基盤施設, 工 学や社会システム全般 に及ぼす影響	2	2.0	1 • 2	秋C春季 休業中	応談	松島 亘志, 庄司学	巨大地震や津波、台風・ハリケーン等の自然極端事象(extreme event)は、多数の人的被害に加え、社会基盤施設にも甚大な被害を及ぼす。多くの地球温暖化モデルがによらの極端事象の急激な増大を予測している現在において、過去の事例から多くの工学的・社会学的側面を学び、これらのリスクを低速することは極めて重要である。本授業では、過去に起こったいくつかの典型的な自然を呼ば、過去に起こったいくつかの典型的な自然を変しなり、分数グループに分かれ、事前の災害対策や、災害への脆弱性、緊急対応の柔軟性等、様々な観点から深く掘り下げ、それらを紹介し議論し合うことで理解を深める.	本授業は、オスティック 本授業は、オスティック 大学と 気護する あくま かく 大学 で 関連 楽学 デック しょう で 表 かく まま かく ままま かく まま かく まま かく ままま かく ままま かく ままま かく ままま かく ままま かく ままま かく まままま かく ままま かく ままま かく ままま かく ままままま かく ままままま かく ままままままま かく まままままままま	Leaning from Disasters: Extreme events and their impact on infrastructure, engineering and society
0AL5623	構造・固体CAE特別演 習	2	2.0	1 • 2	秋AB	火5, 6	松田 昭博,庄司学,新宅 勇一,森田 直樹	原子力工学分野の構造力学・固体力学に関連する課題に対して、ワークショップ形式でプロジェクトを実施する。具体的には、原子力発電所および原子力関連施設を対象として、内部機器を選定し、構造力学・固体力学に関連した先端的な数値シミュレーション技術を用いて性能評価・安全性評価を実施する。	オンライン(同時双方 向型)	Advanced Exercise for Structure and Solid Mechanics
0AL5624	環境流体工学特論	1	1.0	1 • 2	春C	木3, 4	白川 直樹,傳田 正利,武若 聡,大 楽 浩司	ローカルな河川環境問題から地球規模の環境問題まで、水圏のさまざまな環境問題に関する現状と工学的アプローチを解説する。	要望があれば英語で 授業. 対面	Environmental Fluid Engineering
0AL5625	熱流体計測工学特別演 習	2	3. 0	1 - 2	秋ABC	木1, 2	金子 暁子, SHEN Biao	原子力安全を主眼においた熱流動場について、 構造物および流動パラメータの設定に対して、 権権々の先端計測技術を駆使し伝熱特性を解明す ることをデーマとし、ワークショップ形式でブ ロジェクトを遂行する。	対面	Advanced Exercise for Thermo-fluid Engineering
0AL5626	電力・エネルギー工学 特別演習	2	3. 0	1 • 2	春ABC	水3, 4	安芸 裕久, 藤野貴康, 小平 大輔	電力を中心としたエネルギー機器やエネルギーシステムの設計・運用に関する数値実験を行う。電子計算機を用いて、モデル設計・入力データ整備・コーディング・数値実験実施・結果分析の全過程を遂行する。	対面	Advanced Exercise for Power and Energy Engineering
0AL5627	信頼性工学特論	1	2. 0	1 - 2	春AB	水3, 4	西尾 真由子	授業の前半では、構造物の信頼性・安全性評価 において求められる確率・統計理論と構造信頼 性解析の基礎理論について学修する。授業の後 半では、それらの理論を踏まえた演習にも取り 組む。	準コア科目 要望があれば英語で 授業、対面(オンライン併用型)	Advanced Reliability Engineering

【学位プログラム科目群】構造エネルギー工学関連科目(専門基礎科目)

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OALF000	インターンシップ	3	1.0	1 · 2	通年	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	企業、官公庁の研究所、非営利団体などの現場 における就労体験を通じて自らの能力強強、適 性の客観評価を図ると共に、将来の進路決定に 役立てる。具体的には、各種情報技術が実務の 中でどのように活用されているのかを知り、必 要な情報技術・スキルを学び、また、自らの研 究課題の社会における位置付けを確認する機会 とする。開始前の相手方、学位プログラム(専 攻)間の了解と終了後の報告書提出を単位取得の 条件とする。		Internship
0ALF001	アカデミック・イン ターンシップ	3	1.0	1 • 2	通年	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	自らの研究力や知識創生能力の涵養、適性の客観的評価を図ると共に、将来の進路決定に役立てることを目的として、海外で開催される国際会議や国際ワークショップでの英語による研究発表等を推奨し、その報告書により活動を評価する。また、海外での交流・研究活動、海外研修プログラムなども同様に推奨し、その報告書により活動を評価する。	博士前期課程の学生に限る	Academic Internship

【学位プログラム科目群】(博士前期課程)構造エネルギー工学関連科目(専門科目)

科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名
OALF500	構造エネルギー工学 前期特別演習I	2	2. 0	1	通年	応談	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	1年次生を対象とし、構造エネルギー工学における全研究分野の概観を与える。また、学生各自が取組んでいる研究のブレゼンテーションも行わせる。		Seminar in Engineering Mechanics and Energy I
0ALF501	構造エネルギー工学 前期特別演習II	2	2. 0	2	通年	応談	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	2年次生を対象とし、構造エネルギー工学における全研究分野の概観を整理し、各人が取り組んでいる研究の位置づけを行う。また、学生各自が取組んでいる研究のブレゼンテーションも行わせる。		Seminar in Engineering Mechanics and Energy II
0ALF502	構造エネルギー工学 前期特別研究I	3	4. 0	1	通年	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する基礎的な知識を教授すると共に、当該テーマに対する学生の研究を指導する。1年次生を対象とする。		Research in Engineering Mechanics and Energy I
0ALF503	構造エネルギー工学 前期特別研究II	3	4. 0	2	通年	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する発展的な知識を教授する と共に、当該テーマに対する学生の研究を指導 し修士論文の完成を目指す。2年次生を対象とす る。		Research in Engineering Mechanics and Energy II
0ALF504	構造エネルギー工学 前期特別演習Ia	2	1.0	1	春ABC	応談	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	1年次生を対象とし、構造エネルギー工学における全研究分野の概観を与える。また、学生各自が取組んでいる研究のプレゼンテーションも行わせる。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Seminar in Engineering Mechanics and Energy Ia
0ALF505	構造エネルギー工学 前期特別演習Ib	2	1.0	1	秋ABC	応談	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	1年次生を対象とし、構造エネルギー工学における全研究分野の概観を与える。また、学生各自が取組んでいる研究のプレゼンテーションも行わせる。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Seminar in Engineering Mechanics and Energy Ib
0ALF506	構造エネルギー工学 前期特別演習IIa	2	1.0	2	春ABC	応談	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	2年次生を対象とし、構造エネルギー工学における全研究分野の概観を整理し、各人が取り組んでいる研究の位置づけを行う。また、学生各自が取組んでいる研究のプレゼンテーションも行わせる。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Seminar in Engineering Mechanics and Energy IIa
0ALF507	構造エネルギー工学 前期特別演習IIb	2	1.0	2	秋ABC	応談	構造エネルギー 工学学位プログ ラム専任教員	2年次生を対象とし、構造エネルギー工学における全研究分野の概観を整理し、各人が取り組んでいる研究の位置づけを行う。また、学生各自が取組んでいる研究のプレゼンテーションも行わせる。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Seminar in Engineering Mechanics and Energy IIb
0ALF508	構造エネルギー工学 前期特別研究Ia	3	2. 0	1	春ABC	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する基礎的な知識を教授すると共に、当該テーマに対する学生の研究を指導する。1年次生を対象とする。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Research in Engineering Mechanics and Energy Ia
0ALF509	構造エネルギー工学 前期特別研究Ib	3	2. 0	1	秋ABC	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する基礎的な知識を教授すると共に、当該テーマに対する学生の研究を指導する。1年次生を対象とする。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Research in Engineering Mechanics and Energy Ib
0ALF510	構造エネルギー工学 前期特別研究IIa	3	2. 0	2	春ABC	随時	構造エネルギー 工学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する発展的な知識を教授すると共に、当該テーマに対する学生の研究を指導し修士論文の完成を目指す。2年次生を対象とする。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Research in Engineering Mechanics and Energy IIa
0ALF511	構造エネルギー工学 前期特別研究IIb	3	2. 0	2	秋ABC	随時	構造エネルギー 工学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学の研究テーマに関する発展的な知識を教授すると共に、当該テーマに対する学生の研究を指導し修士論文の完成を目指す。2年次生を対象とする。	秋入学者および学位 PLが認めた者のみ履 修可。	Research in Engineering Mechanics and Energy IIb

【学位プログラム科目群】(博士後期課程)構造エネルギー工学関連科目(専門科目)

	【子世ノラノスは日本】(持工及別所は、特担ニュル)(二十万度を行日(今日行日)												
科目番号	科目名	授業 方法	単位数	標準 履修 年次	実施学期	曜時限	担当教員	授業概要	備考	英語(日本語)科目名			
OBLF500	構造エネルギー工学 後期特別演習	2	2. 0	1	通年	応談	構造エネルギー 工学学位プログ ラム専任教員	構造エネルギー工学における全研究分野の概観を与える。また、学生各自が取組んでいる研究のプレゼンテーションも行わせる。		Seminar in Engineering Mechanics and Energy			
0BLF501	構造エネルギー工学 後期特別研究	3	6. 0	1	通年	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学 の研究テーマに関する研究の指導と博士論文作 成の指導を行う。		Research in Engineering Mechanics and Energy			
0BLF502	構造エネルギー工学 後期特別演習A	2	1.0	1	春ABC	応談	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員			Seminar in Engineering Mechanics and Energy A			
OBLF503	構造エネルギー工学 後期特別演習B	2	1.0	1	秋ABC	応談	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員			Seminar in Engineering Mechanics and Energy B			
0BLF504	構造エネルギー工学 後期特別研究A	3	3. 0	1	春ABC	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学 の研究テーマに関する研究の指導と博士論文作 成の指導を行う。		Research in Engineering Mechanics and Energy A			
OBLF505	構造エネルギー工学 後期特別研究B	3	3. 0	1	秋ABC	随時	構造エネルギー エ学学位プログ ラム専任教員	指導する大学院生に対し、構造エネルギー工学 の研究テーマに関する研究の指導と博士論文作 成の指導を行う。	PLが認めた者のみ履 修可	Research in Engineering Mechanics and Energy B			